

## 平成 24 年度 第 1 回土木計画学研究委員会 議事録

日時：平成 24 年 6 月 2 日（土） 18：30～19：35

場所：京都大学・吉田キャンパス・共北 11

**出席者**（敬称略，順不同，役職は新旧併記）

委員長：小林潔司（京都大学），谷口栄一（京都大学）

副委員長：田村亨（室蘭工業大学），山中英生（徳島大学），福田敦（日本大学）

幹事長：兵藤哲朗（東京海洋大学）

学術小委員会委員長：溝上章志（熊本大学）

春大会運営小委員長：高橋清（北見工業大学）

春大会開催校代表：中川大（京都大学）

委員：正司健一（神戸大学），白水靖郎（中央復建コンサルタンツ），古市正彦（JICA），伊東英幸（日本大学）

委員兼幹事：嶋田喜昭（大同大学），高瀬達夫（信州大学），高見淳史（東京大学），羽鳥剛史（愛媛大学），武藤慎一（山梨大学），紀伊雅敦（香川大学），鈴木弘司（名古屋工業大学），塚井誠人（広島大学），日比野直彦（政策研究大学院大学），森尾淳（計量計画研究所），吉田長裕（大阪市立大学），井田直人（北海道工科大学），金子雄一郎（日本大学），真田純子（徳島大学），嶋本寛（京都大学），平田輝満（運輸政策研究機構），三輪富生（名古屋大学）

研究小委員会・研究ワーキング委員長，幹事：石田東生（筑波大学），原田昇（東京大学），喜多秀行（神戸大学），竹林幹雄（神戸大学），藤井聡（京都大学），柴崎隆一（国際臨海開発研究センター）

オブザーバー：尾崎史治（土木学会）

### 配布資料

資料 1-0：平成 24 年度 第 1 回土木計画学研究委員会 議事次第

資料 1：平成 23 年度 第 2 回土木計画学研究委員会 議事録

資料 2：委員長・委員選考規定

資料 3：委員兼幹事の役割分担について

資料 4：土木計画学の会計フロー（H23 年度）

資料 5-1：土木計画学研究委員会 小委員会・ワークショップ 活動状況

資料 5-2：参考資料：調査研究委員会における小委員会活動状況

資料 5-3：持続可能な交通に関する日英比較研究小委員会の活動期間延長のお願い

資料 5-4：土木学会土木計画学研究員会 小委員会設立趣意書

資料 5-5：土木学会土木計画学研究員会「長期的な社会基盤政策の評価分析に関する研究小委員会」設置企画書

資料 5-6：土木学会土木計画学研究員会「移動権の考え方に基づく移動環境の整備・評価に関する研究小委員会」設立企画書

資料 6：資料なし

資料 7：第 46 回土木計画学研究発表会（秋大会：埼玉大学）準備状況報告

資料 8-1：平成 25 年度春大会会場について

資料 8-2：広島工業大学五日市キャンパス図

資料 8-3：「三宅の森 Nexus21」の概要

資料 9：平成 24 年度土木学会全国大会研究討論会企画について

資料 10：土木計画学研究員会国際セミナーについて（報告）

資料 11：平成 24 年度 第 1 回土木計画学研究委員会 HP 担当幹事 報告事項

資料 12：平成 23 年度ワンデイセミナー・シンポジウム

資料 12-2：土木計画学 ワンデイセミナー・シンポジウム No.66 企画（案）

## 1. 委員長挨拶

小林委員長より挨拶がなされた。

## 2. 前回委員会の議事録確認（資料1）

前回委員会の議事録について確認がなされ、原案通り了承された。

### 【審議事項】

## 3. 委員長・学術小委員会委員長選考ルールの改定（資料2）

兵藤幹事長より、委員長および学術小委員会委員長の選考規定を改正したいとの提案があり、資料2の案のとおり了承された。

## 4. 新委員長・副委員長について

山中副委員長より委員長選考委員会での議論に関する説明の後、新委員長として谷口栄一氏が推薦され、了承された。兵藤幹事長より谷口委員長から新副委員長として福田敦氏が指名されたことが報告され、了承された。

## 5. 新委員長・副委員長の挨拶

谷口委員長および福田副委員長より挨拶がなされた。

## 6. 新委員、委員兼幹事について

兵藤幹事長より、伊東英幸氏、井田直人氏、金子雄一郎氏、真田純子氏、嶋本寛氏、平田輝満氏、三輪富生氏が新委員会委員、委員兼幹事として推薦され、了承された。

新しく委員会に加わった伊東委員、井田委員兼幹事、金子委員兼幹事、真田委員兼幹事、嶋本委員兼幹事、平田委員兼幹事、三輪委員兼幹事より自己紹介がなされた。

## 7. 委員兼幹事の役割分担の確認（資料3）

兵藤幹事長より委員兼幹事の役割分担について説明がなされた。新委員兼幹事の具体的な分担については、次回幹事会で決定すると報告された。

## 8. 本年度予算について（資料4）

兵藤幹事長より土木学会の調査研究部門における予算決定方法と土木計画学の会計フロー（本年度予算案）について説明がなされ、原案通り了承された。

## 9. 研究小委員会・ワークショップの設置について（資料5-1, 5-2, 5-3, 5-4, 5-5, 5-6）

嶋田委員兼幹事より研究小委員会・ワークショップの活動状況が報告された。（資料5-1, 5-2）

「持続可能な交通に関する日英比較研究小委員会」の活動期間延長が石田小委員会委員長より提案され、1年間の延長が了承された。（資料5-3）

嶋田委員兼幹事より、「市民生活行動研究小委員会」、「長期的な社会基盤政策の評価分析に関する研究小委員会」、「移動権の考え方に基づく移動環境の整備・評価に関する研究小委員会」の新設について提案があり、了承された。（資料5-4, 5-5, 5-6）

### 【報告事項】

## 10. 2012年度春大会の実施状況について

春大会開催校代表の中川氏より、2012年度春大会の実施状況について報告がなされた。

11. 2012 年度秋大会の準備状況について（資料 7）

溝上学術小委員会委員長より、2012 年度秋大会の準備状況について報告がなされた。続いて、土木学会論文集 D3（土木計画学）特集号（No.5）について、約 250 編の投稿があり、対応が困難になっている現状についての報告、一般号（No.1～4）への誘導が必要であるとの説明および協力のお願いがなされた。

12. 2013 年度春大会の準備状況について（資料 8-1, 8-2, 8-3）

塚井委員兼幹事より、2013 年度春大会の準備状況について報告がなされた。

高橋春大会運営小委員長より、2012 年度春大会では 450 編を超える企画論文の投稿があり、10 会場に何とか納めることができたが、発表数としては限界に達しており、今後は、春大会、秋大会、全国大会を併せた議論が必要であることが報告された。現状のままであると運営が困難となり、HOT な話題で議論するといった大会の特徴が活かしきれなくなるため、早急な対応が必要であることが報告された。

13. 重点研究「東日本大震災を踏まえた防災計画研究の検証と今後の研究課題」について

兵藤幹事長より、土木学会重点研究課題（研究助成金）に申請していた「東日本大震災を踏まえた防災計画研究の検証と今後の研究課題」が、「巨大地震災害を対象とした地域継続計画（DCP）策定に関する研究」と合同で実施することを条件に採択されたことが報告された。また、本日（6 月 2 日）12:15 から合同打合せは行われ、本年度末に取りまとめ、平成 25 年 3 月にシンポジウムを行うスケジュールで進めることで了承されたことが報告された。

14. 全国大会での研究討論会企画について（資料 9）

吉田委員兼幹事より、全国大会での研究討論会企画に関する日時、場所、予算案、スケジュール等について報告がなされた。

15. 国際セミナーについて（資料 10）

吉田委員兼幹事より、土木計画学研究委員会国際セミナーについて、位置づけと意義、手順、過去の実績の説明がなされた。また、兵藤幹事長から今後の開催については、兵藤幹事長もしくは担当である吉田委員兼幹事に連絡してもらいたいと協力依頼がなされた。

16. 土木計画学研究委員会 HP について（資料 11）

羽鳥委員兼幹事より、土木計画学研究委員会の HP に関する改訂作業の内容、今後のスケジュール等について報告がなされた。

17. ワンデイセミナー・シンポジウムについて（資料 12, 12-2）

高瀬委員兼幹事より、平成 23 年度ワンデイセミナー・シンポジウムの開催実績が報告された。山中小委員会委員長より、土木計画学ワンデイセミナー・シンポジウム No.66 企画について説明がなされた。

18. 評価・中期目標対応について

兵藤幹事長より、評価・中期目標対応については、幹事会で対応し、例年同様に対応予定であることが報告された。

19. ランチョンミーティングについて

兵藤幹事長より、明日の昼（6 月 3 日（日）12:30～13:30）に百周年時計台記念館 国際交流ホールにて、ランチョンミーティングを開催し、土木計画学研究委員会全体報告と公共政策デザインコンペ表彰を行うことが報告された。